

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

# 仲間を信じ、裏切りの者を許さず、闘い抜こう！ (301)

国鉄関連法案の十一月末成立が云々される中で、国労の組織率が十一月一日現在で45.3%となり、「改革労組協」に抜かれて「第二勢力に転落した」とマスコミ宣伝されている。

一方では、国労を脱退し「静岡鉄産協」へ走った労働者が「多くの友人を失った」ことを苦に自殺したことが報じられている。  
国鉄労働者を死へ追い込む者は誰か。  
国鉄労働者は生きて闘わなければならぬ。  
仲間を信じて闘いの先頭に立とう！

## ひらき直る国鉄当局

一九七〇年の指数を一〇〇とした場合、一九八〇年が二五四、一九八五年が三〇四、一九八六年が四〇〇となっている。にもかかわらず、国鉄当局は「国鉄職員の自殺率は高くない」とひらき直っている。

そして、国労が十一月六日に開催した「犠牲者追悼集会」に対して、「自殺者を改革の犠牲者に擬しているのは悪意に満ちている」

「このような集会は、鉄道事業の再生を図るため努力している良識ある職員を踏みつけるもの」として集会中止を求めたに至った。  
当局の傲慢もまさに極まったといふべきである。職場で、いかに多くの「国鉄職員」が地獄のような状況の中にいるのか。  
家庭で、家族ともども、どんなに悩み、苦しんでいるのか。  
当局は、この現実を目をつぶり、踏みつぶして行こうとしているのだ。

## 将来に不安を感じるのは当然

来年の四月一日まで、あと五ヶ月足らずしかないのに……  
旅客会社の労働条件はどうなるのか、  
貨物会社の労働条件はどうなるのか、  
「四万一千人」の扱いはどうなるのか、  
退職金は、年金は、等々、何もわかつてはいないのだ。  
住宅ローンをかかえた「職員」が、  
子弟の進学を目前にした「職員」が、  
家族に病人や老人をかかえている「職員」が、  
あと五ヶ月先の職場、労働条件、賃金、等々の生活基盤がどうなるか全くわからないが故に、生

活設計を立てられず、将来に不安を感じることが悪いというのか。

国鉄当局は、何十年も、カゲヒナタなく黙々と働いてきた「職員」に対し、雇用を守るといふ最低限の責任も果さずに生意気なことを言う資格などありはしないのだ。

## 自殺ではない、当局に殺されたのだ

にもかかわらず、この間国鉄当局のやったことは、  
「クビを切るぞ」という脅迫と、  
「お前だけは助けてやる」という、自らの良心と仲間に対する裏切りの強要と、  
「人活センター」や「職場規律」等々のいやがらせ、  
これだけではないか。

「十万人の首切り」を先にきめておいて、その「十万人」を何が何でもタキ出すためのレッテルはり、そのために、当局は、全国の全職場でこのような脅迫やいやがらせを無慈悲に強行しているのである。  
国鉄労働者の側からすれば、八六人は「自殺」ではなく、「当局に殺された」のだ。

## 死をもって抗議する 国鉄労働者の怒りに応えよ！

「不当労働行為はわからないようにやれ」と指導したことがマスコミに暴露されているような当局幹部は全員が「人殺し」と言われても仕方がない連中である。

その幹部のもとで、「人殺し政策」を全国に指導した本社労働課が、「国鉄改革にかかわる自殺

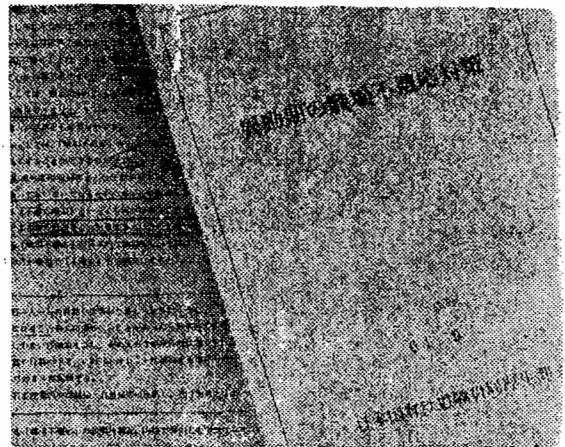
（裏表紙）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

# 国鉄労働者殺しを許すな！

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎！

# 死に急ぐ職員 多発の国鉄



自殺者続出で国鉄が作った自殺防止の手引書「異動期の職場不適合対策」

# 自殺防止へ「気」

## 管理職に手引書配布

### 国労「人間荒廃、認めるもの」

61.11.-9 東タイ(全国)

国労高崎を脱退し「労便改革協」の全労員加入した労仲者が犠牲となった。

11月6日、国労主催の犠牲者追悼集会がたけなわかれた。その前日、職員の長澤田は「自殺の原因は生態、看病疲れなど、分割・民営化の犠牲者ではなく、追悼は組合活動ではない」とあらんかぎりの暴言を吐いた。これが許せるのか。

## 国鉄職員また自殺

### 高鉄局員、民営化を悲観

【高崎】七日夜七時半ごろ、石川県石川郡尾口村の林道の橋から約五十メートル下の下田川に群馬県碓氷郡松井田町西野牧甲一六七三、国鉄職員佐藤昭三さんが飛び降り自殺したと石川県警警報から八日朝、国鉄高崎鉄道管理局に連絡があった。佐藤さんは現在、国鉄高崎

【高崎】七日夜七時半ごろ、石川県石川郡尾口村の林道の橋から約五十メートル下の下田川に群馬県碓氷郡松井田町西野牧甲一六七三、国鉄職員佐藤昭三さんが飛び降り自殺したと石川県警警報から八日朝、国鉄高崎鉄道管理局に連絡があった。佐藤さんは現在、国鉄高崎

保線区安中支区事務係で、九月に相生保線区から転勤したばかり。この間、八月に国労高崎地本から脱退、全国労に捜索願が出た。佐藤さんの車は現場近くの林道で見つかった。遺書はなかったが、佐藤さんは国鉄の分割・民営化による将来を悲観して自殺したとみられている。

は起きていない」とマスコミにコメントしている。(十一月六日付、東京新聞)

何んたる無責任さか。

二月二一日、退職強要された直後に職場で首をつった新宿駅員、

七月十六日、農協への再就職を家族に反対されて自殺した松本電力区員、

八月一日、当局の組織介入に悩み、秋葉原駅ホームから飛び込んだ東京給電局の国労分会長、

九月二八日、直営売店に行かされ、抗議の遺書を残して死んだ水戸機関区検修係、

十一月一日、「国鉄に残るため」職制に「すすめられて」国労を脱退し、「友人をなくした」とを苦に自殺した焼津駅員、

本社労働課は、「このような自殺を「国鉄改革にかかわる自殺ではない」と強弁するのか。

死をもって抗議する労働者の怒りに、責任をもてるのか。

(次号へつづく)



11・6犠牲者追悼集会

61.11.-8 東京(夕刊)